



広報 KOGA NO.66

こが 古河

古河桃まつり
3月20日(日)～4月5日(火)
古河公方行列
3月20日(日) 雨天翌日

目次

- 2 古河総合公園の整備
- 4 明るい選挙
- 6 男女共同参画
- 8 遠きにありて

2011

3

MARCH

古河総合公園に みんなで出かけませんか

■花桃の若木を新しく70本更新しました

○矢口 やぐち

花つき、花もちがよい、花桃の8割を占める 見ごろ：3月下旬



○源平 げんぺい

ひとつの木に
紅白の花が咲きわける
見ごろ：4月初旬



○寒白 かんぱく

白色の八重咲き
見ごろ：3月下旬



○寿星桃 じゅせいとう

鈴なりに咲く
背丈は2mほど
見ごろ：4月初旬



○菊桃 きくもも

花びらが菊の花のように細い
花色は燃えるような真紅
見ごろ：4月中旬



■休憩できる場所も用意してあります

公園内には、園内を散策したあと、ちょっとひと息、軽食、休憩ができる施設「ジェラテリア」があります。この建物は、2010年建築界のノーベル賞ともいわれる「プリツカー賞」を受賞した茨城県出身の妹島和世氏がデザインしたものです。

時間：午前11時～午後4時
定休日：月曜日、年末年始
※月曜日が祝日の場合は営業、翌日休業

<古河桃まつり期間中>
時間：午前9時～午後4時
※期間中は無休で営業



■モミジを植栽しました

公園内に新たにモミジを6本植栽しました。秋には見事な紅葉が見られます。



市では、皆さんの利用する古河総合公園をグレードアップ予算を活用して花桃の更新や園路の整備を行いました。3月20日から4月5日までは古河桃まつりも開催されます。ぜひ、お出かけください。

【問】総和庁舎(本庁)公園緑地課 ☎92-3111

■新しい園路が整備されました

公園正面入口とは別に徳源院口から徳源院跡までの約140mの園路を整備しました。名称は「徳源院への小径」です。こちらからも園内にアクセスできます。園路の両脇には花桃オーナーの木が植樹されています。



■花桃オーナー制度

市民が参加する公園づくりの推進のため、古河総合公園内に花桃を植樹するオーナーを募集したところ、20人の応募をいただきました。

このたび、新しく整備された園路(徳源院への小径)両脇に20本植樹しました。園路に植樹された高さ3mの花桃(矢口)は、今後見事な花を咲かせ、訪れる皆さんを楽しませてくれることでしょう。



▲3月20日は古河公方行列が行われます。古河歴史博物館を出陣し古河総合公園に帰陣します

■古河桃まつりは私たち桃むすめがお待ちしています

今年も3月20日から4月5日までの期間、古河総合公園では日本一を誇る花桃「古河桃まつり」が開催されます。開催中は約2,000本の桃の花が咲き誇り、園内は桃色一色に彩られます。多彩なイベントと併せて桃色の着物で着飾った桃むすめ4人が、来場される皆さんをお迎えします。



ルールを守って 明るい選挙を実現しよう



■明るい選挙の推進

○WHAT 「明るい選挙」って何？

“選挙犯罪や義理人情などによるゆがんだ投票が行われることがなく、私たちの意思が政治に正しく反映される、公明で適正に行われる選挙”のことです。“明るい選挙”を広く世に訴え、これを進めるための全国的な運動が「明るい選挙推進運動」です。

○WHEN 明るい選挙推進運動はいつ始まったの？

選挙を明るく正しいものにしようという運動は、日本では大正12(1923)年ころから行われていました。現在の「明るい選挙推進運動」は、昭和27(1952)年に公正で明朗な選挙が行われることを目的として始められました。市では、昭和42(1967)年から本格的な取り組みが始まりました。

○WHY 明るい選挙推進運動はなぜ行われているの？

明るい選挙推進運動は、昭和26(1951)年の第2回統一地方選挙で腐敗の慣行が横行したのに続き、翌年に予想されていた衆議院議員総選挙に向けて激しい事前運動が行われたことから始まりました。しかし、その後も政治不信をもたらすような事例や選挙違反は無くなっていません。また、国政選挙では平成4(1992)年ころから、地方選挙

では昭和54(1979)年ころから、投票率が大きく低下しており、特に20～30歳代の投票率が低くなっています。社会の将来を担う若い世代の多くが投票に参加しないのは、民主主義の根幹に関わる残念なことです。そこで、明るい選挙推進運動では、みんなが普段から政治と選挙に深い関心と高い意識を持ち、投票総参加ときれいな選挙が実現する、ことを目指して活動しています。

○WHO 明るい選挙推進運動は、誰が中心となって進めているの？

ボランティアで活動している「古河市明るい選挙推進協議会」の人たちです。市内には、現在70人の会員がおり、明るい選挙推進運動に取り組んでいます。皆さんも一緒に活動してみませんか。

○HOW 明るい選挙推進運動に参加するには？

皆さんも、“民主主義の根幹を支えるという、世の中で最も重要で崇高な運動”のひとつである明るい選挙推進運動に参加してみませんか？ 特に、若い皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。



◀さまざまな場所で明るい選挙を啓発しています

○WHERE 明るい選挙推進運動ってどこでどんなことをしているの？

選挙のとき	街頭啓発	明るい選挙推進協議会会員が、駅前や商店街等で選挙啓発グッズを配布しながら、通行人に投票参加を呼びかけます。
	呼び掛け	市公用車や広報車、ぐるりん号等で、啓発テープを拡声器から流すことによって、棄権防止を呼びかけます。
	啓発の交渉	選挙管理委員会がコンビニエンスストアや企業・銀行等金融機関などと交渉し、投票日を知らせるポスターや選挙啓発グッズを置かせていただいています。
選挙がないとき	イベント等でPR	お祭りやイベント等に参加し、政治と選挙の大事さをPRしています。
	学校での啓発	将来の有権者である中学生に、生徒会選挙の際「投票箱」「記載台」を貸し出し、「生徒会選挙」を通じて、就学時から選挙の重要性を認識してもらうとともに、実物に触れることで選挙への関心を高めてもらっています。

■みんなで守ろう「三ない運動」

政治家の寄付禁止、有権者が求めることも禁止



政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると処罰されます。

また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。寄付禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。



■これは禁止されています

1 政治家の寄付の禁止

政治家(候補者、候補者になろうとする人、現に公職にある人)は、寄付をすると処罰されます。

2 政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止

有権者が、威迫してあるいは政治家を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。

3 後援団体の寄付の禁止

後援団体が、花輪、香典、祝儀などを出すと処罰されます。

4 年賀状等のあいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内にある人に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報なども含まれます)を出すことは禁止されています。

5 政治家の関係団体の寄付の禁止

政治家が役職員や構成員である団体が、政治家の氏名を表示して選挙に関し寄付をすると処罰されます。

6 あいさつを目的とする有料広告の禁止

政治家や後援会が、有料のあいさつ広告を出すと処罰されます。



▲大切な自分の一票を進んで投票することが必要です

【問】総和庁舎(本庁)選挙管理委員会 ☎92-3111

「パートナーシップin古河」

2月11日(金・祝)、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で新「古河市」合併5周年記念「パートナーシップin古河」が行われました。これは、古河市男女共同参画推進会議の主催、男女共同参画古河市民ネットワークの協力により、男女共同参画社会の実現に向けて開催したものです。

オープニングセレモニー



オープニングセレモニーは市内在住のギタリスト山中芳郎さんと藤枝貴子さんによる「ギターとアルパのセッション」。『コンドルは飛んでいく』、『浜辺の歌』など皆さんご存じの曲の演奏もありました。

弦楽器同士のすてきなハーモニー、格調高い音色が会場内に響きわたりました。

記念講演

■神田道子さん(国立女性教育会館理事長)
「地域をつくる協働関係を
ー男女共同参画をすすめるためにー」

少子高齢化が進む現代社会のなかで、男女共同参画による地域社会づくりには、自他を尊重する関係を作っていくことが大切であるということ。また、「参加」と「参画」の違いを分かりやすく説明しました。



■落合恵子さん(作家・東京家政大学特任教授)
「こころの居場所」

自分の生き立ちから母親の介護の大変さや支援の必要さ、また、長い人生を振り返って、人に足を踏まれたことがある人、踏んでしまって人を傷つけたことのある人の比較など、実体験に基づく話と音楽に合わせた詩の朗読に会場の皆さんは聞き入っていました。



～ともに手をたずさえてハートtoハート～

ロビー展示



▲当日は、ロビーに「男女共同参画古河市民ネットワーク登録団体の紹介」の展示をしました。

参加者の声(一部抜粋)

※当日はあいにくの天候にもかかわらず550人の来場がありました。

○男女共同参画について一から考えさせられる貴重なお話でした。私も今後何かに関わっていけたらと思った。

○行政区等で、計画の段階から女性が積極的に参加できる場を作りたい。

○今日の話は自分に対しての応援になりとても励まされた。

○大変素晴らしかった。これから若い世代の人にも参加してもらって、安心して暮らせる社会にしていきたい。

男女共同参画古河市民ネットワークの登録者と名称を募集しています

「男女共同参画古河市民ネットワーク」は、男女共同参画推進会議と協働して啓発活動をする団体です。

現在、さまざまな分野で活動している団体や個人の登録者を募集しています。

また、このネットワークの名称も募集していますので、奮って応募してください。



▲2月7日に地域貢献を目的として活躍している団体や市民の皆さんが「男女共同参画古河市民ネットワーク」を設立しました

【問】 総和庁舎(本庁)企画課男女共同参画室 ☎92-3111



▶チノヒルズは自然に囲まれウサギやリスたちが駆け回っているのを目にすることができます



アメリカに来て約16年、古河でアメリカ人の主人と知り合い大寒の日に羽田空港から友人に見送られ、中華航空にてハワイへ着きました。ハワイには約1年滞在し、その後カリフォルニア州、ワシントン州と引っ越し2006年にまた、カリフォルニア州に戻ってきました。

ここ南カリフォルニアは、とても気候が良く、近くにはディズニーランドや野球のエンジェルスタジアムがあります。私が住む町はチノヒルズ、古河のような住宅地でロサンゼルスまで通勤してる人も多く、またアジア人の多い町です。

チノヒルズは名前の通り、丘がありそのため坂道が多く、毎週土曜日には200人くらいのランナーたちが近所の良く整備された道路を走りにきます。また昔、多くいた牛や馬も、町中の丘にまだ少し残っているのんびりしている感じがとても気に入ってます。春には丘が新緑で包まれ、菜の花や野花が咲きわたりとてもきれいな景色が楽しめます。そして、海まで高速道路で約40分、山まで約1時間とスキーとサーフィンが同じ日にする事が可能なのも南カリフォルニアの魅力です。

毎年、夏休みに実家のある古河に帰るのを子どもたちは非常に楽しみにしています。こちらでは夏休みが6月中旬から始まるので、間に合う時には、彼らは市内の幼稚園や小学校に体験入学し、貴重な体験をさせていただき、いつも協力してくれる家族、友人、学校関係者の皆さんに感謝しております。“習うより慣れろ”というのは本当で、日本から帰ってくると子どもたちの日本語が上達したのがよくわかります。また、古河で恒例の夏の祭りや花火大会も彼らの楽しみの一つです。安全



カリフォルニア州在住
ノリコ・ジョンソンさん(後列右)
旧姓：黒崎紀子

な日本では、子どもが自分たちだけでぶらぶらできるのが当たり前、それに慣れてしまいアメリカに戻ってくると“日本じゃないから気をつけてね!”と一言。

今年も思い出がたくさんつまった故郷・古河に帰れる事を楽しみにしています。

全国で表彰・出場等

統計グラフ全国コンクール

第58回統計グラフ全国コンクールにおいて、2万6,409作品に及ぶ作品の中から、市内の児童、生徒が見事な成績を収めました。

◆入選

パソコン統計グラフの部(小学生の児童以上)

古河四小【大門鈴菜さん(6年)、斎藤彩佳さん(6年)、鈴木萌さん(6年)、高尾日向さん(6年)、高山萌花さん(6年)】



◆文部科学大臣奨励賞(特選)

第1部(小学校1・2年生の児童)
古河一小 2年・城下友香さん



◆佳作

第4部(中学校の生徒)

三和北中【生沼綾佳さん(3年)、鮎川知穂子さん(2年)、新井香菜さん(1年)、梅津尊子さん(1年)、森藤亜美さん(1年)】



全国大会出場

◆第27回日本身体障害者水泳選手権大会

小川嘉一郎さん
(茨城Do Swimming Club)

◆第22回全日本ベンチプレス選手権大会

高橋恵介さん(BIGGUNS)
高橋友美さん(BIGGUNS)

◆第7回Jヴィレッジなでしこカップ全国ガールズ8(U-12)サッカーフェスティバル

RJC古河レディースサッカースポーツ少年団

県で表彰

◆茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰(優秀賞)

長左エ門新田集落資源保全隊

七福神をめぐりながら市内を散策

今年で5回目となる「7000歩で歩ける古河七福神めぐり」が1月9日古河市観光協会主催で行われました。

これは、古河駅西口にある七福神を祀る社寺10カ所を巡りながら、古河の歴史的建造物や街並みを楽しんでもらうというものです。

当日は好天に恵まれ、市内外か

ら友人同士、ご夫婦、家族連れなど約1,500人が参加しました。約4.5キロメートル、2時間のコースを約7000歩で歩き、各所での接待を受け、お昼は縁起のよい古河名物「七福カレーめん」でも福を招き、新春の古河のまちを元気に歩きました。毎回参加している人から「今年も新たな発見がありました」との声も聞かれました。



▲各寺社でスタンプ印をもらいながら、甘酒やお菓子なども振る舞われました

貴重な文化財を守る

昭和24年1月26日に法隆寺金堂が火災に遭い、これをきっかけとして昭和30年から毎年1月26日が「文化財防火デー」と定められています。

古河総合公園にある民家園では、毎年この「文化財防火デー」にあわせて防火訓練を行っています。今回も民家防火協力者が集まり、放水銃で消火訓練を行いました。先人たちの残したかけがいのない歴史的にも貴重な文化財。これからも文化財を災害から守り、みんなで未来へ継承していきましょう。



▲民家園内の4カ所に放水銃があります

親子ふれあい教室

1月29日、2月5日と2回にわたり、ネーブルパーク工芸館で小学生とその保護者を対象とした陶芸体験が行われました。参加したみんなは、普段なかなか体験できない陶芸にふれ、親子で協力しながら、楽しそうに作品を作りあげていました。

自由な作品を粘土で作っていき、湯のみ、小鉢、カップ、お皿、箸置きなどの個性的な作品ができあがると、うれしそうな表情を浮かべて、思い出に残る楽しい1日を過ごしました。



▲親子で協力しながら作品ができあがりました

地域の力を生かした学校づくり

総和中学校では、地域と一体になり、地域の力を生かした学校づくりを行っています。そして、生徒が参加しやすい方法を取り入れています。校舎を改築した際には、学校の建て替えを生きた教材の一つと考え、学校づくりに生徒を参加させる取り組みを行いました。

その結果、周囲の景観との調和と教育の現場にふさわしいデザインができあがり、この取り組みが高く評価され、このたび、平成22年度まちづくりグリーンリボン賞を受賞しました。



▲「まちづくりシンポジウム2010」で表彰を受けました

古河桃むすめが横浜で古河市をPR

2月3日、横浜新都市プラザ・イベントスペースで「春の関東甲信静観光展」が行われました。これは、茨城のほか7県が集結して、春に向けての観光イベントをPRし、各県への観光客の誘客増加を目的に開催されました。この日は、古河桃むすめがクイズを出題しながら進行を務め、「古河桃まつり」につ

いてPRするとともに、手作りの^{よろいかぶと}鎧兜を着ての寸劇で3月20日に行われます「古河公方行列」を紹介しました。

また、横浜から古河への便の良さを伝えながら集まった人たちに桃の造花やパンフレットを配り、関東のド・マンナカである古河の魅力を最後までPRしました。



▲桃むすめがたくさんの人たちに古河の魅力を一生懸命PRしました

みんなでジャンプ！ なわとび大会

2月5日、三和健康ふれあいスポーツセンターで、『新「古河市」合併5周年記念第36回古河市小学生なわとび大会』が開催され、市内の小学生約700人が参加しました。

競技種目は、後ろとびや2重とびなどの個人種目と20人以上で編成されたチームが90秒間とんだ回数を競うチームジャンプ。参加したみんなは日ごろの練習の成果を発揮しました。なお、20チームが参加したチームジャンプでは、192回をとんだ「駒小ファイターズ」(駒込小)が優勝、「スーパー6年生」(古河四小)が準優勝、「駒小ジャンプキッズ」(駒込小)が3位になりました。



▲後ろとび、2重とび(1年生は前とび)の回数を競う個人種目



▲チームワークが大切な「チームジャンプ」は声も合わせてジャンプ

日々新たなり

古河市長 白戸伸久

～ 古河公方行列 ～

3月20日から4月5日までの17日間、古河総合公園にて恒例の古河桃まつりが開催されます。約2,000本の桃の花が咲き誇る古河桃まつりは、古河市を代表するまつりとして、毎年市内外から多数の観光客をお迎えしています。

本年は、新「古河市」合併5周年記念ということで、会場である古河総合公園にゆかりの深い古河公方に関するイベント「古河公方行列」を実施することとなりました。今回は、まつりの初日の3月20日に行われる古河公方行列について取り上げます。

時は1455年。第5代鎌倉公方の足利成氏が、本拠地を鎌倉から古河へ移しました。初代古河公方の誕生です。そして月日は流れ2010年。成氏が古河公方となって555周年の記念の年を迎えました。奇しくも新古河市が誕生して5周年の記念の年と重なったことから、公方に関するイベントが企画されました。

古河公方の意味するところは、室町時代に、5代130年にわたり、古河が政治や文化の中心地として、関東や東北に影響力を持ったということで

はないでしょうか。15世紀の隣国、李氏朝鮮の書物には、日本国の国都である京都に対して、古河を東都と呼び、古河が東日本の政治の中心地であったことが、諸外国にも認識されていたと言われています。

公方行列は、市の一体感の醸成、観光誘客および市の知名度の向上を図り、地域の活性化と観光事業の振興を図る目的で実施されます。この度の行列では、氏姫役にいばらき大使の磯山さやかさんを迎え、古河市行政自治会、観光協会、小中高校生、手づくり鎧兜講座受講生など、多くの団体や市民の方々にご参加いただき総勢約320人の隊員たちが、当時を再現した衣装を身にまとい古河市内を練り歩きます。

春の1日、往時をしのび市内で繰り広げられる壮大な歴史絵巻をご堪能ください。



My Hobby

最高の楽しみ「歌うこと」

金澤善三郎さん（諸川）

お酒を飲んでカラオケではやりの歌を歌いストレス発散！という人も多いでしょう。日ごろ歌う歌には長い歴史もあり、その時代を表しているものが多々あります。そんな歌に長い間親しみ、歌を歌いながら人生を歩んできた金澤さんに今回はお話を聞きました。

昔から歌が大好き

若いころから地元でおはやし、民謡を習ってきたそうで、歌は大好き。約40年ほど前、当時習っていた歌の先生の紹介で石下町(現常総市)で開催された、当時、有線放送で放送されていたNHKのど自慢大会に出場。日ごろから鍛えてきた喉で見事な歌を披露しましたが、なぜかその時は鐘が「か〜ん」とひとつ。しかし、そのあとアナウンサーの質問に素直に答えていると話題が農業の仕事のことなど多岐にわたり、その話が約4分におよびました。歌もそうですが、その話にも、相手を引きつける大きな魅力があります。



▶CDのタイトルはズバリ「長宮神社」で見事に歌いあげています



▲にぎやかに騒ぐのが大好きという金澤さんは今日も元気に歌を歌います

歌うことの効果を実感

現在87歳という年齢にはとても見えないほど、元気な金澤さん。その秘けつをお聞きするとズバリ『歌うこと』。歌を歌うことで肺活量を鍛えられるし、気持ちがすっきりして、嫌なことがあっても忘れさせてくれる。これまでも困難なことに直面しても乗り越えてこれたのは、大好きな歌があったからと感じているそうです。

特にお気に入りの歌は『チャンチキおけさ』だそうで、何かちょっとした作業をしながらもつい、鼻歌が出てきます。

地元に貢献していきたい

これまでの人生も、人のできないことをやってみようをモットーに頑張ってきたそうで、このたび、プロの歌手にレッスン指導を受けながら、地元の神社を題材にした歌のCDを自ら制作。地元貢献している金澤さんが、愛着があるゆえに起こした行動だそうです。

振り返るといつも歌があって最高の人生だったとしみじみ語りながら、今後も大好きな歌を歌い、そして、今までお世話になった皆さんに、たくさんお返ししていきたいと思っています。また、のど自慢大会が古河で開催されたらぜひ、参加したいと、にっこり笑顔で話してくれました。

パークライフ 桃林にたたずむ若杉鳥子・長塚節の歌碑《古河総合公園》

桃林内に新しい園路ができました。徳源院への小径です。園路沿いではオーナー制度でご寄付いただいた花桃(矢口)が、皆さんを出迎えます。

この道の途中に、赤みかげ石の2つの石碑が寄り添って立っています。古河出身の美貌の作家若杉鳥子(1892～1937年)と岡田郡国生村(現、常総市国生)出身の作家長塚節(1879～1915年)の歌碑です。

二人の結びつきは、節が友人である下妻在住の詩人横瀬夜雨の宅を訪れた時に、夜雨に詩の指導を受けていた鳥子の写真を見て一目惚れし、鳥子の美しさを桃にみたてた短歌を夜雨に預けたことによります。その歌が、「まくらがの古河の桃の木ふゝめるを いまだ見ねどもわれこひにけり」「紅のしたてにほふもゝの樹の 立ちたる姿おもかげに見ゆ」の二首です。しかし、この歌が鳥子に届けられることはな



▲石碑デザインは建築家吉田桂二氏、書は立石光司氏

く、病弱な節は37歳の若さで亡くなってしまいました。後になってそのことを知った鳥子が、七首の歌を夜雨に書き送りました。「み歌今われなき家の文窓に 忘られてあり身は人の妻」「まくらがの古河の白桃咲かむ日を 待たずて君はかくれたまへり」は、その内の二首です。

明治の悲恋に想いをはせると、いつもとは違った趣で桃林が見えてくることでしょう。桃まつりの際は、ぜひ、お立ち寄りください。石碑には、“美貌の鳥子”の写真が添えられています。

【問】古河総合公園管理棟

☎47-1129 ☎48-5685

✉ sougou-park@koga-kousya.or.jp

HP <http://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/>

文化財の窓

名崎送信所の歴史

古河市の未来に大きな影響を与えるであろう名崎送信所跡地については、広報でもたびたび取り上げられていますが、名崎送信所の歴史をまとめた『名崎所史』などをもとに、ここであらためてその歩みを振り返ってみます。

通信技術の発達にともない、国際通話や放送無線電話の中継などのために、昭和7年に国際電話株式会社が創設され、各地に国際通信・海外放送用の受送信施設がつくられました。送信上の方位距離等の関係から茨城県がもっとも条件にかなった地域とされたため、県内で候補地の選定に入りました。当時の通信省電話課長が旧八俣村出身だったため、現在の三和地区が有力地となり、はじめは旧幸島・八俣村一帯が候補地に挙げられますが、いずれも耕地を失うという理由で地元民の猛反対に遭って断念します。

そこで、昭和8年1月から旧名崎村での誘致交渉が始まりました。ここでも当初は村民からの反対

がありましたが、村当局・議員・地主らの尽力によって建設にこぎ着けることができました。

同年の夏には施設の建設工事が始まり、翌昭和9年には早くも通話業務が開始され、その年の10月13日、官民関係者多数を招いて落成式が盛大に挙行されました。このとき、桜の苗木数十本が地元青年団から寄贈植樹されたということです。昭和10年6月1日には、日本初の海外向け短波ラジオ放送がアメリカ西部・ハワイに送信されました。

名崎送信所は、日本を代表する短波通信施設として設備拡張などを進め、戦争による困難も乗り越え、昭和30年代には最盛期を迎えました。

しかし昭和40年代に入ると、次第に短波通信の縮小にともなう施設の整理統合の波が押し寄せ、名崎送信所も他施設への業務統合・移管が進み、ついに昭和49年11月、40年にわたる歴史に幕が下ろされ廃所となりました。

(文化財保護係)



▲日米間電話開通祝賀会(昭和9年12月)

古河歴史博物館は設備工事が終わりました

古河歴史博物館は昨年11月末日から本年2月末まで設備工事のため臨時休館しましたが、今月1日より通常どおり文化財の公開を再開しています。今回の事業は、環境省の補助金による「茨城県環境保全基金(公共施設省エネ・グリーン化推進事業)」を100%活用しました。

①展示室の空調設備交換

「公開承認施設」(国宝・重要文化財陳列に文化庁から優遇措置が認められた博物館)である当館は、文化財保護の上から、国の定める基準に応じた空調機が展示室に設置されています。具体的には、温度の調節というエアコン機能に加えて、外気を浄化するフィルターを備え、湿度管理も可能にする機能を複合するパッケージ型の特殊な空調ユニットです。展示室の環境を変わず保全するため、より高性能で、省電力を実現する空調ユニットに全面交換しました。

②LED照明器具交換

展示室の照明器具の一部に導入したLED照明は、文化財の劣化を助長するため有害とされる紫外線や赤外線を発せず、従来型照明器具に比較して1割ともいわれる消費電力から、博物館にとって理想的な照明とされています。当館では、この補助金を利用して、脆弱な文化財への影響を少なくすることができる画期的なこの照明を導入することにしました。蛍光灯などよりも省エネで長寿命のため、維持コストの削減にもつながります。ただし、商品化されて間もないLED照明の世界は、いまだ演色性に工夫を要するところがあるため、試行錯誤を重ねてよりよい展示空間を演出するよう腐心しました。



▲外部空調機の取り付け



▲LED取り付け検査

開館時間

午前9時から午後5時
(入館は4時30分まで)

【問】

古河歴史博物館 ☎22-5211



図書館おすすめの図書

◇一般書

・小惑星探査機はやぶさ

川口 淳一郎 著



人類初の偉業を成し遂げた「はやぶさ」は、どんな発想で生まれたのか。「生きているのが不思議」とまで言われたミッションはどのように行われたのか。プロジェクトを先導した著者が「はやぶさ」への思いを語る。

出版社…中央公論社

分類…S538カ

◇児童書

・宇宙に果てはあるの？

池内 了 監修



宇宙のビッグバンってなんのこと？ 地震はなぜ起こるの？ 石にいろいろな色があるのはなぜ？ 宇宙、星座、地震、鉱物、化石、恐竜などの「ふしぎ」をとりあげ、そのナゾを解く。

出版社…かもがわ出版

分類…440ウ

(三和図書館)

健康情報局

「毎日の食事」を考えよう！

以前は飽食、今や崩食。現代は油、砂糖、うまみ調味料をふんだんに使った料理が好まれます。いわゆる「快樂のための食事」と称されます。おいしく感じる外食がはやるのもそのためでしょうか。天然の食材を味わいながら食べ、生きるために必要な栄養を得る粗食こそが本来の食事であり「生きるための食事」なのではないでしょうか。

ポイント1：主食を見直そう

油や砂糖を多く含んだ、パン、パスタ、ピザなどの「カタカナ」主食が増えています。また、太る理由から「ごはん」を抜き、高脂肪のおかずで補うことでカロリーを抑えられると勘違いされる人も少なくありません。まずは、ごはん、うどん、そば、もちなどの「ひらがな」主食の和食中心で栄養バランスを整えましょう。

ポイント2：1汁2菜を基本に食べよう

2菜とは主菜と副菜をそれぞれ1品ずつそろえた献立。主菜は肉、魚、豆、豆製品のたんぱく質中心のおかず。手のひら

サイズを1回の摂取目安量とします。副菜は、野菜、イモ、海藻、キノコなどのビタミン、ミネラル、食物繊維中心のおかず。1食分は生で両手分、加熱のものなら片手量を目安にします。汁物は、水分中心のおかず。新鮮食材を選ぶことで食事の満足度もアップします。

ポイント3：間食を見直そう

甘いものは、幸せな気持ちや自分へのご褒美として、食後の「別腹」感覚。ただ、菓子パンやスナック菓子、甘い飲物は要注意。意外と高カロリーなんです。これを習慣化しないためにも数や量を決め食べることが大切です。

ストレスから「心の栄養」を得るのに食の快樂は必要です。ただ食べ過ぎると体に悪影響を及ぼすのも確かです。これをどうコントロールし、よい食生活にするか。作って楽しい、食べておいしい、体に優しい、旬の食材を味わうこと。これが、「生きるための食事」につながります。

(健康推進課)



表紙写真

昭和52(1977)年より開催されている「古河桃まつり」は、古河を代表するまつりです。

古河総合公園では、約2,000本の桃の花が咲き誇り、園内が桃色一色に彩られるなかに、期間中(3月20日～4月5日)、歌謡ショー、野点、郷土物産品の販売、フラダンスなどさまざまなイベントが開かれ、たくさんの人でにぎわいます。

ぜひ、ご来場ください。

(写真は昨年(2010)年の古河桃まつりの様子)

寄付

(株)サイクルエンタープライズ(坂東市)より、インフルエンザ等感染症予防のため手指の消毒剤を三和中学校へ250本、八俣小学校へ250本の寄付。

人口と世帯

(2月1日現在 住民基本台帳から)	
総人口	144,779人 (-49)
男	72,630人 (-30)
女	72,149人 (-19)
世帯数	54,498世帯 (+9)
() 内は前月比	



みんなで健康 カルシウムたっぷり

“簡単” 豚肉と春菊のさっと煮

食育レシピ



(1人分)
エネルギー=253kcal
たんぱく質=21.9g
脂質=15.2g
カルシウム=66mg
食塩相当量=1.4g

材料(4人分)

豚肉うす切り(しゃぶしゃぶ用)200g、春菊1束、
エノキタケ1パック、A(水1.5カップ、濃縮麺つゆ
50cc)、粉サンショウ少々

作り方

- ①豚肉は食べやすいように切る。春菊は長さを半分に切り、柔らかい上半分だけを使う。
- ②鍋にAを入れて煮立て豚肉をばらしながら入れて火を通す。
- ③エノキタケ、春菊の順に箸でさばきながら加え、しんなり煮る。盛り付けて粉サンショウを散らす。

(食生活改善推進協議会)



アイドル登場



「わが家のアイドル」

若杉すずちゃん・夏くん

(8歳・1歳10カ月 東一丁目)



弟の面倒を良くみてるお姉ちゃんと、ボール遊びが大好きな夏くん。けんかもするけど、とっても仲良しな2人は家族みんなを笑顔にしてくれます。

元気いっぱい育ててね！

(父：智宏さん・母：裕美さん)

古河風土記

藤堂元甫は、獅子ヶ崎を「御成門」の側に土居の出崎ありて猪ヶ崎といふ実も猪の鼻の形に似たり 其地高くして諏訪曲輪、御成門、桜門眼下に見ゆ 猪ヶ崎を以て此城を名城とすといへり」と評しました。すなわち、「猪ヶ崎(獅子ヶ崎)」は、古河城御成門と桜門の双方を眼下に警備することの可能な要害で、古河城が名城たる所以は、その存在ゆえであると。

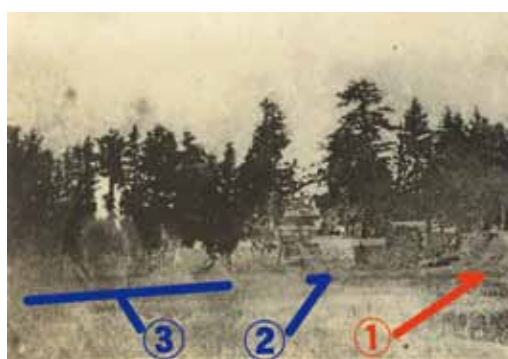
また一説に、この高台に大砲を据えたといひ、この地の重要性をかいま見た古河歴史博物館学芸員 永用俊彦



▲図1 獅子ヶ崎の位置

古河城点描 ―名城の条件「獅子ヶ崎」
江戸時代、古河城内に存在した「獅子ヶ崎」(図1の①)。Aは歴史博物館、②は御成門、③は御成道。写真1にも見えるとおり、獅子ヶ崎は、曲輪の突端、尖った土塁が堀に突き出すという、きわめて特徴的な構造でありました。局地ながら名のあることは、この地が、戦略的要地であるという可能性を示唆しています。

じつさい、江戸中期の文人で、思川のお手伝い普請のため古河に滞在した
る。昭和50年代の道路敷設で先端の「鼻」部分が切り崩されて、獅子ヶ崎にも開発の波が押し寄せました。この古河城きっての名勝も他の遺構同様、破壊されても不思議ではない状況



▲写真1 「六軒町より見たる御成門」(明治3年 武藤松庵撮影)